



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社丸和運輸機関

コード番号 9090

URL <http://www.momotaro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和佐見 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河田 和美 TEL 048(991)1000

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	73,326	14.7	5,746	24.1	5,921	22.6	4,072	20.7
2019年3月期第3四半期	63,910	14.9	4,631	40.5	4,831	38.7	3,375	39.0

(注) 包括利益2020年3月期第3四半期 4,653百万円 (65.1%) 2019年3月期第3四半期 2,817百万円 (△10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.52	63.30
2019年3月期第3四半期	52.68	52.46

(注) 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	49,104	26,403	53.8
2019年3月期	45,545	23,033	50.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 26,403百万円 2019年3月期 23,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.20	—	18.20	36.40
2020年3月期	—	21.90	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	10.95	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。2020年3月期（予想）につきましては、当該株式分割を考慮した配当金額を記載しております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	16.8	7,170	23.3	7,300	20.7	4,670	19.7	72.83

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	64,320,160株	2019年3月期	64,276,160株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	181,312株	2019年3月期	181,208株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	64,112,722株	2019年3月期3Q	64,073,558株

- (注) 1. 当社は、2019年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型E S O Pの信託財産として保有する当社株式180,800株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・「2020年3月期の業績予想」の通期の1株当たり当期純利益の算定につきましては、当該株式分割が2020年3月期の期首に行われたと仮定した場合の期中平均株式数64,119,217株によっております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向で推移したものの、輸出の弱含みをはじめ天候不順や台風等による被害、消費税増税に伴う需要の減少などにより企業収益に減速感が表れております。また、長期化する通商問題や中東情勢の緊迫化懸念など、景気の先行きは不透明な状況となっております。

物流業界におきましては、深刻化する少子高齢化に伴う労働人口の減少やそれに起因する稼働車両の不足など、依然として厳しい経営環境で推移しております。

このような環境のもと当社グループは、顧客へのサービスレベルを向上させ、クオリティの高い物流システムの構築を目指すと共に、更なる事業領域拡大のため「3PL&プラットフォームカンパニー」をコンセプトとした新たな中期経営計画をスタートさせました。

成長著しいEC市場において、独自のラストワンマイル配送網を構築し、個人事業主「MQA (Momotaro・Quick Ace)」を開業支援する仕組みを発展させると共に、低温食品物流事業のサービスメニュー「AZ-COM7PL」において、物流品質の均質化と機能拡張を図り、海外市場の開拓及び海外からの人材確保にも挑戦してまいりました。更に平常時のみならず災害等による非常時においても安全・安心・安定した物流を提供すべく、BCP物流事業の強化に加え、「AZ-COM丸和・支援ネットワーク」におけるパートナー企業との相互扶助に基づく連携により人材と車両を確保・共有し、社会インフラとしての物流基盤の構築に努めております。

また、機能戦略の強化として「人材の確保及び育成」「先端技術の研究・活用」「新たな市場開発」に傾注し、労働人口の減少と技術革新が進む環境下において、持続的成長を実現する経営基盤の強化に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高73,326百万円（前年同四半期比14.7%増）、営業利益5,746百万円（同24.1%増）、経常利益5,921百万円（同22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,072百万円（同20.7%増）の増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ① 物流事業

##### < EC・常温物流 >

日用雑貨を中心とするEC・常温物流においては、「ECラストワンマイル当日お届けサービス」の受託エリアにおける稼働拠点及び車両台数が順次拡大したことに加え、新たな3PL業務受託などが寄与した結果、売上高は27,755百万円（前年同四半期比30.7%増）となりました。

##### < 食品物流 >

低温食品を中心とした食品物流においては、「AZ-COM7PL」（アズコム セブン・パフォーマンス・ロジスティクス/7つの経営支援機能を付加した3PL）戦略に基づく物流改革提案により獲得した新規物流センターの稼働実績が順次業績に寄与した結果、売上高は29,440百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

##### < 医薬・医療物流 >

医薬・医療物流においては、主要取引先であるドラッグストアをはじめとする既存取引先にて、新規出店や新たな物流拠点の稼働が寄与した結果、売上高は15,455百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

利益面では、新たな物流センター設備や車両に対する投資に加え、労働力確保に向けた積極採用に伴うコストの増加はあるものの、日次決算マネジメントの強化による生産性向上をはじめ、積極的な事業拡大による効果が表れた結果、物流事業における売上高は72,651百万円（前年同四半期比14.8%増）、セグメント利益（営業利益）は5,545百万円（同23.3%増）の増収増益となりました。

#### ② その他

文書保管事業においては、既存取引先との取引拡大や新規取引先からのBPO（ビジネスプロセス・アウトソーシング）に係る新規案件の受託に努めた結果、売上高は675百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益（営業利益）は200百万円（同49.9%増）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、49,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,559百万円増加いたしました。流動資産は20,340百万円となり、789百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が996百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が1,629百万円増加したことあります。また、固定資産は28,764百万円となり、2,770百万円増加いたしました。この主な要因は、投資有価証券が1,806百万円、建物及び構築物が882百万円増加したことあります。

負債につきましては、22,701百万円となり、前連結会計年度末に比べ189百万円増加いたしました。流動負債は16,327百万円となり、722百万円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等が382百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,078百万円増加したことあります。また、固定負債は6,373百万円となり、533百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金が793百万円減少したことあります。

純資産につきましては、26,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,369百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が2,783百万円、その他有価証券評価差額金が553百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,436,518	7,440,154
受取手形及び売掛金	10,339,124	11,968,587
貯蔵品	34,311	34,182
その他	746,056	902,893
貸倒引当金	△5,052	△5,619
流動資産合計	19,550,958	20,340,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,499,393	8,382,254
機械装置及び運搬具(純額)	2,568,760	2,749,049
土地	6,917,694	6,917,694
その他(純額)	2,201,435	2,071,715
有形固定資産合計	19,187,283	20,120,713
無形固定資産	1,516,691	1,412,976
投資その他の資産		
投資有価証券	3,326,137	5,133,079
その他	2,001,856	2,144,908
貸倒引当金	△37,529	△47,175
投資その他の資産合計	5,290,463	7,230,812
固定資産合計	25,994,438	28,764,501
資産合計	45,545,397	49,104,699
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,224,275	7,302,704
短期借入金	200,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,217,144	2,284,688
未払法人税等	1,317,131	934,396
賞与引当金	457,538	129,429
訴訟損失引当金	2,000	2,000
その他	5,187,054	4,974,262
流動負債合計	15,605,144	16,327,481
固定負債		
長期借入金	4,004,212	3,211,049
退職給付に係る負債	677,977	707,748
資産除去債務	493,541	596,501
その他	1,730,952	1,858,366
固定負債合計	6,906,683	6,373,665
負債合計	22,511,828	22,701,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,657,368	2,660,352
資本剰余金	2,171,790	2,174,774
利益剰余金	17,798,513	20,582,151
自己株式	△103,747	△103,977
株主資本合計	22,523,924	25,313,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	687,236	1,240,989
退職給付に係る調整累計額	△177,591	△150,738
その他の包括利益累計額合計	509,644	1,090,250
純資産合計	23,033,569	26,403,552
負債純資産合計	45,545,397	49,104,699

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	63,910,821	73,326,670
売上原価	56,468,998	64,238,478
売上総利益	7,441,823	9,088,192
販売費及び一般管理費	2,810,217	3,342,145
営業利益	4,631,605	5,746,047
営業外収益		
受取利息	2,380	2,543
受取配当金	53,988	71,094
受取保険金	11,033	44,649
投資有価証券売却益	—	574
業務受託料	59,062	—
その他	117,482	83,812
営業外収益合計	243,948	202,675
営業外費用		
支払利息	15,565	15,203
投資有価証券売却損	2,552	—
リース解約損	12,517	9,781
訴訟関連費用	3,944	—
その他	9,878	1,827
営業外費用合計	44,458	26,812
経常利益	4,831,095	5,921,909
税金等調整前四半期純利益	4,831,095	5,921,909
法人税等	1,455,753	1,849,215
四半期純利益	3,375,342	4,072,694
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,375,342	4,072,694



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,375,342	4,072,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△578,819	553,752
退職給付に係る調整額	21,222	26,852
その他の包括利益合計	△557,597	580,605
四半期包括利益	2,817,745	4,653,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,817,745	4,653,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	63,261,655	649,166	63,910,821	—	63,910,821
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	79,911	291,121	371,033	△371,033	—
計	63,341,566	940,288	64,281,855	△371,033	63,910,821
セグメント利益	4,497,717	133,887	4,631,605	—	4,631,605

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	物流事業				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	72,651,403	675,267	73,326,670	—	73,326,670
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	115,232	289,685	404,918	△404,918	—
計	72,766,636	964,952	73,731,588	△404,918	73,326,670
セグメント利益	5,545,367	200,679	5,746,047	—	5,746,047

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。